

ホールボディーカウンタによる内部被ばく検査の実施状況について

(地域医療課)

【今回の取りまとめ】

1 実施期間 (取りまとめ期間) 6月27日～9月30日までの間

2 対象者等

計画的避難区域や双葉郡の町村等の住民を中心に実施

計 4, 463名

3 実施数内訳

(単位：人)

市町村	計	4～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳～
川俣町	213	44	61	42	25	12	29
(山木屋)	(男113;女100)	(27;17)	(31;30)	(22;20)	(7;18)	(6;6)	(20;9)
浪江町	2, 615	846	1, 198	189	294	60	28
	(男1,173;女1,442)	(426;420)	(589;609)	(32;157)	(88;206)	(26;34)	(12;16)
飯舘村	627	292	249	14	23	23	26
	(男293;女334)	(146;146)	(114;135)	(4;10)	(4;19)	(12;11)	(13;13)
広野町	5			3		2	
	(男3;女2)			(2;1)		(1;1)	
檜葉町	375	210	77	35	45	6	2
	(男148;女227)	(103;107)	(37;40)	(2;33)	(5;40)	(0;6)	(1;1)
富岡町	16	4	2	2	1	5	2
	(男4;女12)	(1;3)	(0;2)	(0;2)	(1;0)	(1;4)	(1;1)
川内村	156	73	64	4	12	1	2
	(男83;女73)	(39;34)	(39;25)	(1;3)	(2;10)	(0;1)	(2;0)
大熊町	174	97	40	10	18	8	1
	(男87;女87)	(50;47)	(27;13)	(3;7)	(4;14)	(2;6)	(1;0)
双葉町	108	47	8	8	16	13	16
	(男47;女61)	(22;25)	(5;3)	(2;6)	(2;14)	(7;6)	(9;7)
葛尾村	159	71	56	12	14	3	3
	(男93;女66)	(45;26)	(38;18)	(2;10)	(4;10)	(2;1)	(2;1)
相馬市	2	1	1				
	(男0;女2)	(0;1)	(0;1)				
南相馬市	8	2		1	3		2
	(男5;女3)	(2;0)		(0;1)	(2;1)		(1;1)
田村市	5			1			4
	(男3;女2)			(1;0)			(2;2)
合 計	4, 463	1, 687	1, 756	321	451	133	115
	男 2, 052	861	880	71	119	57	64
	女 2, 411	826	876	250	332	76	51

(注) 1 対象者の抽出は、子ども及び妊婦を優先にそれぞれ市町村に依頼して行った。

2 3歳以下の子どもについては、行動を共にした当該親が代わって受検する取扱いとした。

4 検査の結果

実施機関からの報告に基づく検査の結果は、下表のとおりとなっており、全員が健康に影響が及ぶ数値ではありませんでした。

	預 託 実 効 線 量 (mSv)				合 計
	1 未満	1	2	3	
川俣町	2 1 3 ^人	人	人	人	2 1 3 ^人
浪江町	2, 6 0 8	5	2		2, 6 1 5
飯舘村	6 2 7				6 2 7
広野町	5				5
檜葉町	3 7 2	1	2		3 7 5
富岡町	1 6				1 6
川内村	1 5 5		1		1 5 6
大熊町	1 7 3		1		1 7 4
双葉町	1 0 4		2	2	1 0 8
葛尾村	1 5 9				1 5 9
相馬市	2				2
南相馬市	8				8
田村市	5				5
合 計	4, 4 4 7	6	8	2	4, 4 6 3

(注)「預託実効線量 (mSv)」とは、体内から受けると思われる内部被ばく線量について、成人で50年間、子どもで70歳までの累積線量を表したもの。